

「志望校確認書」「推薦入試受験希望届」の提出について

現在、三者面談期間真っ只中ですが、保護者の皆様には、御来校いただき、ありがとうございます。

さて、9月末日に行いました「進路保護者会」でお話しましたように、「志望校確認書」を11月14日（金）までに担任へご提出ください。（後期中間の成績を待って志望校を判断する場合は11月20日（木）厳守となります。）「進路ノート」の31ページにある用紙に記入してください。記入の方法は第3回進路希望調査と同様ですが、公立高校は1校のみの記入となります。また、入試日も調べて記入してください。本人が黒ペンを使用し、丁寧に記入します。保護者の方は、お名前の記入をお願いいたします。28ページに控えがありますので、そちらにも記入しておきましょう。



また、推薦制度を利用して高等学校を受験しようとお考えの方は、「単願推薦入試受験希望届（黄色）」、「併願推薦入試受験希望届（水色）」も併せて提出してください。

以下に、保護者会資料を再掲します。

★ 推薦制度を利用して高校を受験しようとする場合、次の手続きを行います。

① 本人・保護者から推薦制度を利用することを担任に申し出ること。「単願推薦入試受験希望届」「併願推薦入試受験希望届」を、11月14日（金）まで（後期中間の成績を待って志望校を判断する場合は11月20日（木）厳守）に「志望校確認書」とともに担任へ提出すること。

☆ 学年進路先検討会で検討した後、再度本人・保護者に意思を確認した上で、校長が最終判断します。

☆ 検討事項について

以下の3つの条件に適した生徒であるか。

- ア. 本人の志望動機・理由が明確で適切であるか。
- イ. 本人の志望校に対する能力・適性があるか
- ウ. 志望校が別に定める要件に適合しているか

② 自己推薦については、三者面談を通して、担任が本人・保護者から確認する。

※ 慎重を要する件ですので、進路希望調査や志望校確認書等の書面によって推薦の意思を確認していきます。

このような手順の後、私立高校側に連絡（入試相談）を行い、【推薦基準】を満たしているか確認の審査を受けて、決定されます。（入試相談の制度がない私立高校もあります。）

「志望校確認書」提出後に、私立高校や公立高校などの志望校に変更が生じた場合は、担任と相談の上、「進路ノート」32~34ページの「進路希望（受験計画）の変更について」に記入して、ご提出ください。再度、「志望校確認書」を提出する必要はありません。用紙が不足した場合は、担任に申し出てください。コピーオフをお渡しします。

「志望校確認書」の記入例と注意

希望順位	志望する学校名	科(コース)	入試日	希望する受験区分
第一希望	千葉県立柏南高等学校	普通	2/21・22	
第二希望	専修大学松戸高等学校	普通A類	1/17・18	一般受験
第三希望	土浦日本大学高等学校	普通進学	1/15	併願推薦
第四希望	中央学院高等学校	普通進学	1/19	併願推薦

※希望順位は必ず、進学したい学校の順番に記入してください。

※学校名は正確にご記入ください。公立は、県立・市立の区別をしてください。

※学校によっては試験日が2日間にわたる場合があります。その場合は2日間を記入してください。

また、試験日を選べる場合、1日のみは受験日を、2日間受験する場合は2日分記入してください。

試験日の給食取り消しにもつながります。取り消しのお知らせは後日配布します。

※記入欄が足りない場合は、欄外にお書きください。

※保護者氏名は必ず保護者が記入してください。お子様が記入することの無いようにお願いします。

※ボールペンで記入してください。記入に当たっては、以下の点に注意してください

①必ず消せないボールペンでの記入をお願いします。記入した日付も忘れずに。

②修正液（修正テープ）は使用せず、訂正する場合は、黒の二本線で消してください。

健二

（例） 西原 健二 ←

③「学校名」は必ず正式名称で書いてください。例：千葉県立東葛飾高等学校

④「学科名」もしっかりと調べて、記入してください。また、コースのある場合は、コース名も記入してください。

⑤「受験種別」も、各校それぞれあります。丁寧に調べ、記入してください。